

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

東海村 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	東海村総合福祉センター「絆」は、2004年(平成16年)に開所し、現在は社会福祉協議会が中心となり多くの世代や住民に向けた様々な社会福祉活動を行っています。	4
2	1980年(昭和55年)11月、東海村合併25周年記念事業のひとつとして東海音頭が作られました。歌っているのは 都はるみ(みやこはるみ) さんです	1
3	東海村と アイダホフォールズ市 (アメリカ合衆国アイダホ州)は、1981年(昭和56年)に原子力が縁で国際親善姉妹都市となりました。	3
4	照沼家住宅主屋(てるぬまけじゅうたくおもや) は、東海村唯一の国登録有形文化財です。2007年(平成19年)に登録されました。茅葺屋根(かやぶきやね)で曲り屋形式の民家です。当地の豪農住宅の特徴をよく留めています。	4
5	ふるさと東海村の歴史や文化を発信する拠点として、子どもたちの体験や遊びを通じた活動拠点として、幅広い世代が交流し郷土愛を育み、賑わいをつくる生涯学習施設「(仮称)歴史と未来の交流館」は、 東海消防署 の隣に建設が進んでいます。	2
6	徳川斉昭は、1833年～1834年(天保4年～5年)にかけて村松海岸を 村松晴嵐(むらまつせいらん) として水戸八景の一つに選定し、村松晴嵐の碑を建碑しました。建碑された自然石に書かれた村松晴嵐は徳川斉昭(とくがわ なりあき)筆によるものです。かつては石のおもてが常に濡れていた事から「濡れ石」とも呼ばれました。	1
7	東海村は、1955年(昭和30年)3月31日、町村合併法によって 石神(いしがみ)村 と 村松(むらまつ)村 が合併し東海村となりました。	2
8	東海村ではいろいろな農産物が生産されています。 コメ(米) は約300ヘクタールの土地で生産されています。また、「干しいも」の原料として村の南側では サツマイモ が多く生産され約200ヘクタールの土地で生産されています。(のびゆく東海11改訂P38参照)	2
9	2003年(平成15年)12月に運転を始めた 常陸那珂火力発電所 は、石炭を燃料として1号機、2号機合わせて200万キロワットの発電能力があります。	3
10	東海村外宿(とじゅく)浄水場 は、久慈川を水源として、沈殿(ちんでん)や濾過(ろか)などの処理を行って各家庭・学校・地域へ届けています。また、水が足りなくなる時には、茨城県から水を買って、須和間(すわま)配水場からも家庭に送っています。	1
11	東海村発足25周年を記念して、 黒松 を村の木に制定しました。黒松は、村の気候や風土に適し、海岸線をはじめ村内至る所に見られます。	4
12	真崎浦(まさきうら)の出入り口付近の村々には、室町末期から江戸時代はじめにかけ、風の影響も手伝って砂に埋まってしまう被害が深刻でした。大風が続いたことによって村が埋まって消えてしまった伝説を 千々乱風伝説(ちぢらんふうでんせつ) といいます。J-PARC建設に伴い、2003年(平成15年)から1年5か月にわたり建設予定地であった村松白根(むらまつしらね)遺跡を発掘調査したところ、製塩跡、製塩に従事した人々が生活したと思われる建物や墓石などが発見されました。	2
13	権現山(ごんげんやま)古墳 は、全長87メートル、後円部直径45メートル、高さ5.5メートルです。南側の一部を除いて墳丘(ふんきゅう)はよく保存されています。尾根上を利用してつくられたもので、久慈川流域の古墳を理解するうえで極めて重要です。	3
14	東海村の人口は、2019年(令和元年)9月1日現在、約38,000人で、村として全国で 第2位 の人口となっています。第1位は、沖縄県の読谷村(よみたんそん)で、2019年(令和元年)8月31日現在約41,000人となっています。	2
15	2013年(平成25年)に白方(しらかた)地区の西光(さいこう)遺跡において、農道整備事業に伴い発掘調査をしていたところ、 旧石器時代 にあたる約3万3000～3万1000年前の地層から、ナイフ形石器3点と、石器を作製するための道具や破片が出土しました。	1
16	ヤンサマチ には大きく分けて二つの行事がありました。一つは「浜降り」と呼ばれるもので、もう一つは「競馬祭り」でした。「豊年満作」「浜大漁」「家内安全」を祈る行事でした。この競馬には、須和間の馬が必ず参加しました。なお、ワーホイは小正月の14日にその年の豊作を願う行事。カッペリモチは、小川の土手にもちを供え、水神様に子どもの水難除けを祈る行事。セイモンバラは「誓文ばらい」ともい、ヒイラギの枝に豆腐とニンニクを刺して蔵や母屋の出入り口に飾り、疫病や悪魔祓いをする行事。	4
17	東海村観光協会では、東海さくらまつり、東海まつり、大空マルシェ、 I～MOのまつり を、東海村4大祭りとして紹介しています。	4
18	晴嵐荘(せいらんそう) は、結核の第一号の国立療養所となりました。太平洋に面し、松林に囲まれた風光明媚(ふうこうめいび)な場所は療養するのに適した場所でした。	2
19	東海村立白方小学校出身の 吉村真晴(よしむら まはる) 選手は、2016年(平成28年)のリオデジャネイロオリンピックにおいて男子団体の部で銅メダルを獲得しました。今年の世界卓球選手権ハンガリー・ブダペスト大会において石川佳純(いしかわ かすみ)選手とのペアで出場した混合ダブルスの部では、銀メダルを獲得しました。	3
20	真崎浦(まさきうら) は東海村の東南端、ひたちなか市に接しています。真崎浦は、約100年前までは村松沼(むらまつぬま)・薦沼(ともぬま)あるいは素絹(そけん)の沼ともよばれた沼でした。海から吹く風が砂を運んで川を埋め、大雨のたびに沼水はあふれるなど大きな被害を与えました。	1
21	1877年(明治10年)、石神外宿(いしがみとじゅく)に 石神(いしがみ)小学校 、初等中等科を置きました。2003年(平成15年)に新校舎改築竣工式が行われました。2018年(平成30年)11月には、創立140周年記念石神祭が行われました。	4
22	東海村病児・病後児保育施設の愛称は「 るびなす 」といいます。ルピナスの花言葉「母性愛」・「いつも幸せ」は、親の子どもへの「愛」とその思いが育まれる「幸せ」な家庭を表現しています。	2
23	城主は佐竹氏家臣の石神 小野崎氏 です。1602年(慶長7年)佐竹義宣(さたけ よしのぶ)の秋田移封にしたがってこの地を去り、石神城は廃城になりました。	3
24	J-PARC (ジェイパーク)は、素粒子物理、原子核物理、物質化学、生命科学、原子力など幅広い分野の最先端研究を行うための陽子加速器群と実験施設群の呼称です。	4
25	2019年(令和元年)に茨城県で行われた国民体育大会の名称は「いきいき茨城ゆめ国体2019」です。前回(1974年 第29回)は、「水と緑のまごころ国体」でした。東海村は、前回は今回も ホッケー競技 の会場となり、阿漕ヶ浦公園と東海高校が試合会場になりました。	3